

草地で斑点米カメムシ類が多発！ 適期防除を実施しましょう！

- ・作物名：水稲
- ・病害虫名：斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ、クモヘリカメムシ)
- ・対象地域：県内全域
- ・予想発生量：多
- ・発生時期：やや早い(本田侵入始期：7月第6半旬)

巡回調査：7月12～14日

定点調査ほ：大崎市古川(古川農業試験場)

天候予報：仙台管区气象台7月20日発表

1 予報の根拠

(1) 中生品種(北部平坦部)の出穂期は平年(県平均：8月2日)より5日早い7月28日頃と予測されるため、斑点米カメムシ類の本田侵入始期は平年(8月第1半旬)よりやや早い7月第6半旬と予測される。(－/)

(2) 定点調査の結果、アカスジカスミカメの第1世代成虫発生盛期は7月第3半旬であり、平年(7月第5半旬)より早かった(－/)。

(3) 巡回調査の結果、イネ科植物が出穂している草地におけるアカスジカスミカメ成虫の発生地点率は平年よりやや高く、すくいとり虫数は平年より多かった(図1)。同様に、クモヘリカメムシ成虫の発生地点率及びすくい取り虫数は平年を大きく上回った(図2)。(/ +)

(4) 高温が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高いと予報されている。(－/+)



写真 アカスジカスミカメ(左)、クモヘリカメムシ(右)

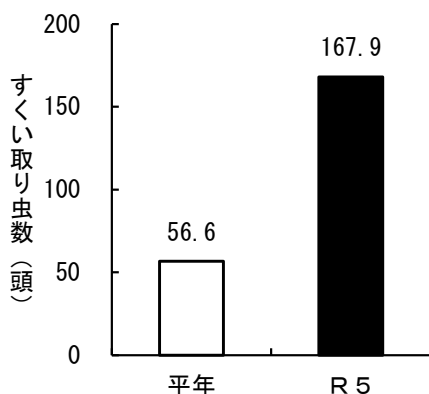


図1 草地におけるアカスジカスミカメ成虫のすくい取り虫数(7月中旬)

※イネ科植物が出穂している地点のみ集計

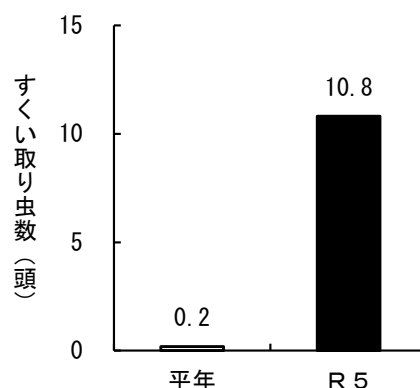


図2 草地におけるクモヘリカメムシ成虫のすくい取り虫数(7月中旬)

※イネ科植物が出穂している地点のみ集計

2 防除のポイント

- ・水田における薬剤防除は、穂揃期とその7～10日後の2回防除が基本である。水稻の出穂が早いと見込まれるため、ほ場をよく観察し、遅れないように防除を実施する。
- ・ジノテフラン液剤(スタークルメイト液剤10等)とエチプロール水和剤(キラップフロアブル)はアカスジカスミカメに対する防除効果が高く、特に、ジノテフラン液剤は残効が長く、2週間程度は発生密度を抑制することができる(主な薬剤は表1を参照)。
 - ※普及に移す技術第93号参考資料「アカスジカスミカメの多発条件下における殺虫剤による茎葉散布処理の効果」https://www.pref.miyagi.jp/documents/8592/685973_2.pdf
- ・クモヘリカメムシは水田に越冬世代成虫が侵入し、その後1世代を経過する。クモヘリカメムシの発生地域で「つや姫」等の晩生品種を作付けする場合は被害リスクが高くなる可能性があるため、適期防除を実施する。
 - ※普及に移す技術第92号参考資料「クモヘリカメムシの発生生態」<https://www.pref.miyagi.jp/documents/20202/621917.pdf>
- ・すでにアカスジカスミカメの第1世代成虫発生盛期を迎えていることから、今後、水田周辺の畦畔や雑草地の草刈りを行うと、成虫を水田内に追い込み斑点米被害を助長するため、原則行わない。やむをえず草刈りを行う場合は、草刈り後直ちに水田への薬剤防除を実施する。
- ・イヌホタルイが多発しているほ場では、1回目の薬剤散布を「出穂始～穂揃期」に行うことで、斑点米カメムシ類の密度を低下させ被害を軽減できる。
 - ※普及に移す技術第83号参考資料「イヌホタルイ発生水田におけるアカスジカスミカメの防除適期」<https://www.pref.miyagi.jp/documents/20202/69951.pdf>
 - ※普及に移す技術第88号普及技術「イヌホタルイ発生量に基づく斑点米被害リスク評価」<https://www.pref.miyagi.jp/documents/20202/223214.pdf>

表1 斑点米カメムシ類対象の主な薬剤(『宮城県農作物病害虫・雑草防除指針』より)

IRACコード	薬剤名	無人航空機での登録
1B	スミチオン乳剤	○
	スミチオン粉剤3DL、エルサン乳剤、エルサン粉剤2	
1A/1B	エルサンバッサ粉剤20DL	
2B	キラップフロアブル	○
	キラップ微粒剤F、キラップ粉剤DL	
3A	トレボンEW、トレボン粉剤DL	
4A	スタークル液剤10、スタークルメイト液剤10、スタークル1キロH粒剤、スタークルメイト1キロH粒剤	○
	スタークル粒剤、スタークル顆粒水溶剤、スタークル粉剤DL、アルバリン粒剤、アルバリン顆粒水溶剤、アルバリン粉剤DL	
4A/UN	オーケストラスタークルエア	○
3A/4A	スタートレボンW10	○
4C	エクシードフロアブル	○
	エクシード粉剤DL	

※令和5年7月19日現在の登録内容

農薬危害防止運動実施中！（6月1日～8月31日まで）



農薬危害防止運動
リーフレット

《お問い合わせ先》

宮城県病害虫防除所

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL:022-275-8982 FAX:022-276-0429

E-mail:byogai@pref.miyagi.lg.jp

★宮城県病害虫防除所から『メルマガ』で
発生予察情報の発表をお知らせしています★



宮城県病害虫防除所
トップページ



メルマガ
登録フォーム